

平成 21 年度 精神神経疾患委託費に係る利益相反についての情報開示

川崎医科大学 利益相反委員会

平成 22 年 7 月 29 日

研究課題名：アルコール依存症の病態と治療法の開発に関する研究

研究代表者：薬理学 教授 大熊 誠太郎

川崎医科大学薬理学教室では「産学連携活動に係る受け入れ額」として企業からの奨学寄附金があるが、これらは当学園の研究助成課で管理されている。本研究の利害関係については「川崎医科大学利益相反マネジメントポリシー」にそって「川崎医科大学利益相反委員会」へ申告して審査されている。この研究に係る利益相反についての情報を開示するために、平成 21 年度における奨学寄附金の提供団体を以下に示す。

企業名：日本新薬株式会社